

第二〇三回ペン川柳会

令和三年四月二十七日

お題 「欠・欠ける」

■ 山縣 (安兵衛)

やすべえ

あの頃は欠食児童いまメタボ  
金欠で自粛したくも動けない

■ 三春 (火酒)

ウオツカ

通夜の酒欠点だらけの友偲ぶ  
欠けた歯もアロンアルファで医者いらず

■ 八木 (明迷)

めいめい

震度6粗品の皿は欠けもせず  
点睛を欠いた人生それでいい

■ 松谷 (零門)

れいもん

義理欠くもコロナのせいと言い逃れ

助手席は欠伸うたた寝ご満悦

■ 浜田 (我々好)

ウイスキー

今の世に欠けるはたしなみ譲り合い  
歯の欠けたババは笑いを手で隠し

■ 西川 (酔雅)

すいが

八十路入り記憶も欠ける歯も欠ける  
根回しが欠けたの知らず四面楚歌

■ 稲宮 (井波)

いなみ

マスク美人欠けたとこ埋め妄想す  
五輪の火ギャラリー欠くが消さないぞ

■ 曾山 (酪帝) めいてい

欠点はモグラたたきで治せない  
今の俺身欠きにしんど呼ばれてる

■ 細谷 (損得) そんとく

貧乏は金欠内科で治せぬか  
八十路では月も欠けるが身も欠ける

■ 平尾 (酔深) すいしん

欠けた鼻ツラツラ思う過去の罪  
品を欠くそれでもあの娘(こ)の千チが好き

■ 塚田 (拿々) だだ

上長の長いスピーチ生欠伸  
エアライン欠航増えて金欠に

■ 安藤 (晃二) てるつぐ

サハリ園獅子大欠伸しどけなし  
浅ましや間欠跛行で追っかけに

■ 大野 (だし)

コロナ禍で欠席坊主も顔を出す  
欠けた鼻どうしたものが夢の中

世話人 塚田 實(拿々) だだ